

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成19年8月16日(2007.8.16)

【公開番号】特開2007-75154(P2007-75154A)  
 【公開日】平成19年3月29日(2007.3.29)  
 【年通号数】公開・登録公報2007-012  
 【出願番号】特願2005-263086(P2005-263086)  
 【国際特許分類】

**A 6 1 B 1/00 (2006.01)**

**A 6 1 B 5/07 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

A 6 1 B 5/07

【手続補正書】

【提出日】平成19年7月3日(2007.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数アンテナを用いて受信されるとともに受信時の前記複数アンテナの受信強度情報が対応付けられた一連の画像を表示する画像表示装置において、

前記画像ごとに該画像受信時の受信強度が最も大きな最大強度アンテナを、前記複数アンテナの配置に対応付けて表示するとともに他のアンテナと識別可能に表示する制御を行う表示制御手段を備えたことを特徴とする画像表示装置。

【請求項2】

前記表示制御手段は、前記最大強度アンテナとして第1アンテナから第2アンテナへ表示切替を行う場合、該表示切替時点から所定期間だけ前記第2アンテナと異なる表示レベルで前記第1アンテナを継続表示する制御を行うことを特徴とする請求項1に記載の画像表示装置。

【請求項3】

前記表示制御手段は、前記所定期間中に前記第2アンテナより小さい表示レベルで前記第1アンテナを継続表示するとともに、該第1アンテナの表示レベルを段階的に減衰させる制御を行うことを特徴とする請求項2に記載の画像表示装置。

【請求項4】

前記表示制御手段は、前記所定期間の経過時点に前記第1アンテナを非表示する制御を行うことを特徴とする請求項3に記載の画像表示装置。

【請求項5】

前記表示制御手段は、前記最大強度アンテナの表示色相、表示彩度および表示輝度あるいはアンテナ形状、大きさの少なくとも1つを他のアンテナと異ならせて表示する制御を行うことを特徴とする請求項1～4のいずれか一つに記載の画像表示装置。

【請求項6】

前記表示制御手段は、前記複数アンテナの各受信強度情報を表示する制御を行うことを特徴とする請求項1に記載の画像表示装置。

【請求項7】

前記表示制御手段は、前記最大強度アンテナの受信強度を基準とした前記複数アンテナ

の各相対受信強度を表示する制御を行うことを特徴とする請求項 6 に記載の画像表示装置。

【請求項 8】

前記表示制御手段は、前記複数アンテナを、前記相対受信強度に応じた表示色相、表示彩度および表示輝度あるいはアンテナ形状、大きさの少なくとも 1 つを用いて表示する制御を行うことを特徴とする請求項 7 に記載の画像表示装置。

【請求項 9】

前記一連の画像は、被検体内に導入されたカプセル型内視鏡を用いて撮像された被検体内画像であり、前記複数アンテナは、前記被検体表面上の所定位置に配設されることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか一つに記載の画像表示装置。

【請求項 10】

生体内情報を構成する画像データを当該生体内情報から抽出し、当該画像データを表示するとともに、前記生体内情報を構成する、前記生体内情報を受信したアンテナを示す受信アンテナ情報を抽出し、生体内情報を受信したアンテナを認識可能に表示する表示制御手段を具備することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 11】

生体内情報取得体から複数アンテナ群の最も受信強度が強いアンテナによって無線受信してなる生体内情報を表示するための画像表示装置であって、

前記生体内情報を表示する際に、無線受信したアンテナを認識できるように表示することができるアンテナ表示手段を具備することを特徴とする画像表示装置。

【請求項 12】

前記表示制御手段は、前記複数アンテナの各受信強度情報を数値表示する制御を行うことを特徴とする請求項 6 に記載の画像表示装置。

【請求項 13】

前記数値表示は、前記最大強度アンテナの受信強度を基準とした相対値表示であることを特徴とする請求項 12 に記載の画像表示装置。